

【活用にあたって】

人は言葉で考え、言葉で伝えます。言葉は思考と伝達を担っています。言葉の数を増やすということは、国語科ばかりでなく、すべての教科学習の基盤となります。

小学校低学年から語彙量、言葉の数を増やすことです。活字に触れる機会を意識的に設定することです。新聞は身近にあり、手に取りやすいものです。まず大人が新聞を読んでいる姿を子どもに見せることが何よりも大切です。

新聞にはたくさんの写真が掲載されています。かわいらしい動物やきれいな花の写真を見ることができます。そういった時に、「この鳥さんは何をやっているのかな」「この花はどこに咲いているのかな」と一声かけることです。子どもたちは、いろいろと想像することでしょう。

記事の本文を指して、「ねえ、何が書いてあるの」という問いが発せられれば、言うことはありません。本文をかみくだいて読むことです。これが、活字に触れる第一歩となります。

解答例

問1：（頭を水に突っ込んで）餌を捕っている。

問2：お尻

発展：想像豊かに書けるとよいと思います。